

玉木、長島氏 中間派と接触

民進代表選 蓮舫氏、岡田氏と会談

民進党代表選（9月2日告示、15日投票）を巡り、若手から待望論が強い玉木雄一郎衆院議員、非主流派の長島昭久・元防衛副大臣の両氏が、党内中間派への働きかけを強めている。

玉木氏は4日、国会内で、中間派の大島グループ（約15人）を率いる大島敦政調会長代理と意見交換。その後、「今後の党のあり方について示唆に富むアドバイスをいただきたい」と記者団に述べ、大島氏を持ち上げた。

玉木氏は出馬への意欲を周辺に漏らしているが、自らのグループを持たないことから、立候補に必要な20人の推薦人を確保できてい

ない。このため、大島氏の協力を得られるか感触を探ったとみられる。大島氏は会談で、「グループには若い人を推すことに抵抗感がある」と答えたという。

立候補の意向を表明している長島氏は4日、旧維新の党出身の江田憲司代表代

行と会い、代表選を無投票にしない方針で一致した。旧維新グループ（約20人）も中間派とされる。

一方、5日に立候補を正式表明する予定の蓮舫代表代行は4日、岡田代表、枝野幹事長と個別に会談した。蓮舫氏は主流派から現執行部の路線を引き継ぐことを期待されている。蓮舫氏によると、岡田氏は「決断を支持する」と述べたという。